

# いちょなみき

No. 74

- 岡山大学から世界へ、グローバルに活躍する卒業生  
李 偉権 さん EY アドバイザリー株式会社
- 研究室訪問 大藤 剛宏 大学院医歯薬学総合研究科(医)准教授
- きらり岡大生 加藤 健人・田中 雄輝 両選手  
フジアーノ岡山/法学部(夜間主コース)入学
- 「グローバルサイエンスキャンパス」に選定
- 国際センターが「グローバル・パートナーズ」に改組
- 留学生の視点で岡山の魅力発見「おかやま Study Tour」
- 全学部全学科で「国際バカロレア入試」導入
- News & Topics 大学の動き/研究・臨床成果
- 岡山大学ホームカミングデイ 2014 開催予告

特集

Special Section

生まれ変わった  
岡山大学附属図書館  
グローバル化時代を生き抜く「知」の交流拠点として



改修された「中央図書館」

岡山大学附属図書館をリニューアルした狙いとは。

変革する大学にあって大学附属図書館を取り巻く環境も変化し、利用者のニーズも多様化してきた。文部科学省からも大学附属図書館の使命として「学修の場」としての機能強化が求められる中、岡山大学附属図書館は耐震化工事の実施が決まり、図書館改革を行うにはタイミングもよく、これを機に利用者が望む利便性と機能性にすぐれた学修環境を整備することになった。

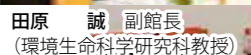
図書館執行部をはじめ図書館にかかわりの深い学生や教職員らで「中央図書館利用者サービス実施検討ワーキンググループ」を立ち上げ、図書館全体の将来構想を練った。図書館の役割として重要視すべきは、学生の主体的な学びの確立に向けた大学教育の質的転換の実現へ、図書館に集積された「知」を教育に活用する空間をつくり、多文化・異世代・異分野の人材が集える場を提供すること。グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」をはぐくむ交流拠点こそ、岡山大学が描く次代の図書館像であると考え

る。その拠点をリベラルアーツ醸成の基盤とし、世界で活躍する人材を育成・輩出することも図書館に課せられた大きな使命。今日、学生と接する中で感じるのは、学生はいろいろなことに臨機応変に対応し、クリエイティブな発想のもと能動的

5月9日、中央図書館(津島地区)と鹿田分館(鹿田地区)がリニューアルオープンした。学生が集い学べる場所が充実し、新たな「学修の場」としての機能強化へ大きな一歩を踏み出した岡山大学附属図書館。改修の狙いやリニューアルした図書館の特徴、今後の改革方針について沖陽子館長(環境生命科学研究所教授)に聞いた。



今津 勝紀 副館長 (社会文化科学研究科教授)



田原 誠 副館長 (環境生命科学研究所教授)

# Shikata Branch Library Learning Commons



ペースとなつていく。学生らにとつて自分のニーズに合った場所で学べるメリットは大きい。教育支援だけでなく、研究支援サービスの充実も図るため、今年度中に本館2階に院生や研究者、企業・地域関係者らがアカデミックな情報を交換できる場を設ける予定である。また、鹿田分館においても利用者の目的に応じたゾーン分けを明確にしたことにより閲覧室の席数も倍増し、以前よりもいっそう静かな空間を実現することができた。さらにカフェ「ONSAVA COFFEE」も併設。息抜きしながら学べる環境が整った。

**利用する学生らの反応はどうか。**

中央図書館は正面の時計台脇の壁面をガラス張りにし、分館も外壁をミラーガラスにするなど、学生から「開放的で明るくなった」という声が聞かれる。中央図書館本館1階では学生らが飲み物を片手に楽しそうに学ぶ姿が見られ、3階のグループワークスペースを利用して共同学習する学生も多い。正面に加えて東側(マスカットユニオン側)にも玄関を設けたことにより学生や教職員らの行き来もやすくなった。ただ、それだけで満足してはいけない。講義・ワークショップ

# 特集 生まれ変わった岡山大学附属図書館

## グローバル化時代を生き抜く「知」の交流拠点として

に取り組む能力を持つているにもかかわらず、その能力をトレーニングされないまま大学を卒業し、社会に出てしまっているということだ。その能力を鍛える仕掛けは必須で、それに応えられるのが図書館だろう。図書館には考える素材が豊富にあり、それを大いに利用し、学生が考える力を養うとともに自分の考えに深みを持たせ、学ばしさを追求するきっかけになればと思う。

**リニューアルした中央図書館、鹿田分館の特徴は。**

改修工事の目玉は図書館の機能強化に多様性を持たせ、新たな「知」を創造する場を設けたことだ。今までの図書館は図書資料を使いながら静かに個人学習する場というイメージが強かったが、学習方法としてアクティブラーニングへの期待が高まる中で学生がともに学び合うスペースとして近年注目されている「ラーニングコモンズ」を両図書館に新設し、会話可能な席数が格段に増えた。

中央図書館ではフロアごとに論語の「知好楽」をテーマにした空間づくりを推進。ラーニングコモンズや語学学習スペース、リフレッシュスペースのある1階は仲間とともに楽しみながら学べ、パソコンスペースや個人学習エリアのある2階は学修の動機付けをしながら「知」のレベルアップを図り、サイレントエリアやグループワークスペースを備えた3階は静かな環境で集中して学修できるス

ブなどでの図書館利用をさらに促進するとともに、より使いやすい図書館を目指し、リニューアルに伴って採用した学生アシスタントを中心に学生の希望や提案を大いに取り入れ、学生主導型のイベント企画もサポートしていきたい。

**図書館改革の次なるステップとは。**

今回の耐震改修工事ではハード面は整備され、「知」の交流拠点ができたが、その交流を活性化させるためには、学生を取り巻く環境に多種多様な人の繋がりを展開させる制度化した人的ネットワークの形成も欠かせない。また、中央図書館を拠点とした周辺エリアを「知好楽ゾーン」と位置付け、学生や教職員らの「知」の活動拠点とし、異世代・異分野交流の場も構

築したいと思っている。まずはリニューアルした図書館をうまく使いこなさなければ次のステージに進めないわけで、そういう意味ではここ1、2年が勝負の年になるだろう。「知」の輪を拡げ、「知」の心を熱くする岡山大学附属図書館での学修を通し、深い普遍的知性、検証的思考、主体性、創造性、対話力と豊かな「心」を身につけた学生が将来、学都・岡山の創成にかかわるとともに世界に大きく羽ばたくことを期待している。

沖 陽子 館長 (環境生命科学研究所教授)



**\*知好楽**  
「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」論語(雍也篇)より引用。「知る」ことは「好む」ことの境地には及ばない。しかし、「好む」ことは「楽しむ」ことの境地の奥深さには及ばないという意味。岡山大学附属図書館が目指す「知の交流拠点の形成」のコンセプトとして導入。

# Central Library Learning Commons

経済学部4年 河本 直樹



僕のおすすめは中央図書館本館1階の語学学習スペースです。語学学習スペースにはTOEICなどの英語のテキスト対策の本ばかりがあるわけではありません。みんな話しながら学習できる「グループ用ブース」や個人の学習に最適な「個人用ブース」、それにDVDやアメリカのCNNというニュースを見ることが出来る「AVコーナー」があります。

具体的には、学習ブースはラーニングcommonsと違って半個室型のスペースになっているのでグループや個人での学習に集中して取り組むことができます。コンセントがあるのもうれしいですね。AVコーナーはテレビをつけるだけでCNNが流れ、こんなに簡単に生の英語を聞ける場所はなかなかないと思います。今回の改修でできた新しいスペースなのでぜひ多くの方に利用してほしいですし、特に英語のスキルアップを目指す方にはおすすめです。

医学部2年 紀田 心一

僕のおすすめは鹿田分館1階にあるラーニングcommonsです。ここは2、3階の空間とは違い、みんな会話しながら学習に取り組むことができます。普段から多くの学生が利用している人気のスペースで、僕自身も試験前には友人らと集まり、教え合ったりディスカッションしたりして理解を深めています。ホワイトボードも設置してあるので、視覚的に情報の共有ができます。グループ学習のために自分たちだけの空間がほしいという学生にはセミナー室もおすすめです。ここは10人ほどが利用できる個室になっており、70型タブレット端末BIGPADも備え付けられています。カウンターで簡単に利用手続きができるので、ぜひ一度お試しください。

文学部2年 藤田 さくら

私のおすすめは中央図書館本館1階のリフレッシュスペースです。図書館がリニューアルしてできた新しいスペースで、飲み物を飲んだり、友人と雑談したりしてもいいので気軽にくつろげる場所になっています。自動販売機が数台設置してあってとても便利で、ちょうどマスカットユニオンの隣に位置し、近くに入出口があるので飲み物を買ってきて休憩することもできます。

このスペースのテーブルは1台につき2、3人が利用できる大きさですが、移動が可能で、いくつかをくっつけて大人数で利用することもできます。学生の皆さんが授業の空き時間に友人とおしゃべりや試験勉強する姿をよく目にしますが、図書館の新しい在り方を感じられる、個人的にもお気に入りの場所です。

私自身、図書館の学生アシスタントを務めています。リフレッシュスペースの真正面でも働いているので、何かあれば遠慮せずにお声かけください。



おすすめ  
**図書館活用術**

**グループワークスペース**

(本館3階)

グループワークスペースは学習個室、グループ学習室、セミナー室で構成されています。学習個室は学部生の方が1人から、グループ学習室は2人以上で利用できます。自分たちのグループだけで集中したいときなどにおすすめで、特に試験期間には連日満室になることもある人気スペースです。



中央図書館

**Central Library**

閲覧スペース(本館3階)

本館3階には閲覧スペースとサイレントエリアがあります。サイレントエリアではより静かに集中して学習できるよう、パソコンや電卓は利用できません。パソコンや電卓を利用する際は隣の閲覧スペースや2階のパソコンスペースがおすすめです。それぞれの机の間隔を広めにとっており、ゆったりとした空間になっています。

【施設利用の問い合わせ】

中央図書館/フロアサービスグループ

▶086-251-7318

鹿田分館/鹿田分館グループ

▶086-235-7050

**Shikata Branch**

鹿田分館

**Library**

閲覧室(3階)

以前は学生から「勉強したいのに席がない」といった声も聞かれましたが、今回の改修により利用できる席数が353席と倍増しました。特に、3階閲覧室はサイレントスペースとなっており、個別学習に適し、静かに集中したい人のための空間となりました。医学系図書は、ここに配架されています(歯学系・看護系は2階)。



**ONSAYA COFFEE 鹿田キャンパス店**

鹿田分館に併設する「ONSAYA COFFEE」ではエアロプレスで抽出された香り豊かなコーヒーやエスプレッソ、フレッシュジュースなどが味わえます。この時期はブレンド「アフターアワーズ」を使ったピターでフルーティーな味わいのアイスコーヒーも人気です。「本日のコーヒー」とアイスコーヒーは、当日レシート持参で何杯でもおかわり120円!フードメニューも充実していて、岡山県内外の4店舗から取り寄せたパンを使ったサンドイッチ、注文してから焼き上げるワッフルもおすすめです。全商品テイクアウトが可能で、20杯以上の注文でポットサービス(1杯200円)も行っているため、講義・ワークショップなどでご利用ください。



ONSAYA COFFEE鹿田キャンパス店

TEL 086-225-0440

営業時間/平日9:00~21:00、土曜9:00~17:00

定休日/日曜・祝日

席数/店内32席、屋外21席



EYアドバイザリー株式会社 ◆ 岡山大学工学部卒、自然科学研究科博士前期課程修了

## 李 偉 権

LEE WEI CHIAN

技術職からコンサルタントへ。  
経験に裏打ちされた強みを生かして、  
グローバルに活躍することを誓う。

- ▶リー・ウェイチャン (29歳)
- 1985(昭和60)年 マレーシア生まれ
- 2010(平成22)年 岡山大学工学部物質応用化学科(現化学生命系学科)卒
- 2012(平成24)年 岡山大学大学院自然科学研究科博士前期課程修了 修士号(工学)取得
- 大手消費材メーカー入社
- 2014(平成26)年 EYアドバイザリー株式会社入社

### 海外チームと働く

会計事務所Ernst & Young (アーンスト・アンド・ヤング) のアメリカオフィスと協力してコンサルティングを行うプロジェクトチームの一員です。現在のクライアント(顧客)は、海外の製薬会社。チームのメンバーは多国籍で、連絡はすべて英語です。私は、英語、中国語、日本語、マレー語の4か国語を話しますが、グローバルに働く上で語学力は必要不可欠だと実感しています。

### 正確さが重要

コンサルティングで最も重要なのは、クライアントの要望を明確に定義し、経営課題について双方が共通した問題意識を持つことです。

コンサルタントには、クライアントのビジネス上のゴールを達成することを指し、事業の推進を支援することが求められます。今回のプロジェクトでは、クライアントが市場に対して最適なマーケティングや商品戦略がとれているかを分析した上で、抱える問題点を指摘し、事業の発展を支援する業務に携わっています。最近では多くの企業がビッグデータ\*から情報を得ていますが、膨大なデータを有効に活用するのは想像以上に難しいことです。私たちは、ビッグデータを扱うスキルや知識を提供し、既にクライアントが行った分析を検証し、異なる視点

# 強みを生かし、 グローバルに活躍する人材に



### ■ EY アドバイザリー株式会社

所在地：東京都千代田区霞が関  
事業内容：大手企業に対するアドバイザリー業務（支援業務）全般の提供など

世界157カ国で約19万人のプロフェッショナルと共に、会計監査、アドバイザリー、税務アドバイザリー、トランザクションアドバイザリーサービスを展開するErnst & Young (EY) のメンバーファーム。EYが開発したグローバルで一貫した手法およびツールを用いて、高品質なサービスを提供する

### 技術職からコンサルタントへ 大胆転職

加えた新たな分析や提案を行います。こうして提供する情報は、クライアントの重要な経営判断に関わるため、事実に基づいた正確なものでなくてはなりません。日々、緊張感を持って業務に臨んでいます。  
\*市販のデータベースや従来のデータ管理では処理することが困難なほど巨大で多種多様なデータの集約

### 自分だけの強みを生かす

式会社で念願のコンサルタントになりました。物質生命工学を専攻していた人がなぜコンサルタントに、と思う方もいるかもしれませんが、私にとっては極めて自然な流れ。むしろそうした経験があるからこそ、今の仕事に出会えたと考えています。

▼工学部粒子材料学研究室の頃  
(前列左から3人目 2011.11)



学生時代の専攻は、物質生命工学。留学前から憧れていた粒子材料学研究室(現粒子・流体プロセス工学研究室)で、ナノレベルの泡について研究しました。目に見えないほど小さな泡の特性や機能を調べて、存在を証明していく過程はとても楽しく、興味深いものでした。大学院修了後は、技術職で大手消費材メーカーに入社。技術開発を行う部門で、生産管理や商品開発に携わるうちに、いかに無駄を省き、効率的に生産(経営)するかを考えるコンサルタント業務に強く惹かれるようになりました。未知の世界に対する不安はありませんでしたが「やってみよう」という気持ちの方が強く、転職を決意。2014年4月、EYアドバイザリー株

日本に来て今年で10年目。私は自身の強みについて、日本文化に馴染んでいること▽技術者として働いた経験があること▽語学力と考えることができます。将来は、チームの中心に立つて、海外企業を担当するなど、グローバルなプロジェクトに関わることを希望していますが、どんなプロジェクトでも私の強みは発揮できるはずだと思います。技術者の経験から、内情(生産や研究開発の現場のこと)も分かるので、経営面だけではなく、よりクライアントに寄り添ったコンサルティングが可能です。また、語学力を生かして様々な国の人とコミュニケーションを図り、チームをまとめることもできます。今はまだ、先輩や上司の指導を受けて仕事を覚えている途中ですが、いずれはチームを引っ張り、EYのみならず社会に貢献できる人材になりたいと考えています。

「高度な知の創成と的確な知の継承」一。岡山大学の理念のもとに教育・研究を展開する個性あふれる教員たち。研究室を訪ねる。

数分での決断

大藤医師らによる脳死下肺移植手術



2014年7月3日。特発性間質性肺炎を患う60代男性への脳死肺移植手術を控えていた大藤医師は、難題を突き付けられていた。早朝、移植チームのスタッフから「摘出した脳死ドナーの肺が肺水腫を起こした」との連絡を受けたからだ。手術か、断念か。頭の中で、あらゆるケースを想定する。肺の状態を考えると、「答え」を出すまでに与えられた時間はわずか数分だ。悩み抜いた上に出した結論は、肺の左右を反転させることだった。未知の手術への挑戦が必要となったが、「患者の状態から見てラストチャンスだった」と大藤医師。約7時間にも及んだ手術は、脳死下では国内初の成功となった。

# 最後の希望は肺移植 確かな知識と経験で、患者を救う

岡山大学病院は心臓、肝臓、肺臓、腎臓、小腸はじめ多臓器の臓器移植が行える数少ない認定施設。その中でも、肺移植は日本でトップの実力を誇る。肺移植チーフを務める医歯薬学総合研究科の大藤剛宏准教授を訪ねた。



岡山大学病院

## 希望を運ぶ仕事

肺移植の権威として知られる大藤医師のもとには、全国各地の肺移植を望む患者から依頼がくる。その一人一人を自ら往診。データだけでは分からない細かい状態を確認することはもちろん、顔を見合わせながら話をすることで、信頼関係を築くためだ。「この人なら命を預けることができる」と思ってもらえるようにならなくては」と、どんなに忙しくてもポリシーは曲げない。「起き上がれるようになったら、移植をしましょう」。寝たきりで手術が困難な患者には、こんな言葉を掛けてみる。治療だけでなく、闘病生活を送る患者が、生きる希望を感じられる提案をするのも、医師の使命と考えている。

## 遠回りこそ近道

最初から肺移植を専門としていたわけではない。香川、広島県の関連病院では、消化器、循環器、呼吸器科など、さまざま

な現場を経験した。2002年から5年間留学したオーストラリアの病院では、提供臓器の評価から手術、術後管理まで、一貫した技術を習得。約200例にも上る肺移植に携わった。

その中で学んだのは、「外科医だけでは、患者を元気にすることはできない」ということだ。肺移植を成功させるためには、集中治療、免疫療法など、多様な分野を知っていなければならぬ。遠回りをして得た知識が、患者を救う大きな武器になっている。

## 命を救う

「世界初」「国内初」の肺移植を次々と成功させてきた大藤医師。新聞社などの取材を受ける際、記者から「どうして新しい移植方法を思いつくのか」と、質問されることがよくある。だが、大藤医師は言う。「患者の中には、従来の移植法では助からない人もいます。私はただ、目の前にいる患者を救う方法を模索しているだけです」。

医師としての喜びを感じる瞬間がある。「寝たきりだった患者が、自分の足で元気に帰っていき姿を見送る時」だ。これからも、その手で多くの命を救うべく、大藤医師の挑戦は続く。

# 大藤 剛宏

大学院医歯薬学総合研究科(医) 准教授

- OTO TAKAHIRO (47歳)**
- ▶1967年 広島県竹原市生まれ
  - ▶1992年 岡山大学医学部卒業  
香川県立中央病院外科 勤務
  - ▶1995年 土肥病院心臓血管外科 勤務
  - ▶1998年 岡山大学第二外科 勤務
  - ▶1999年 岡山大学肺移植研究員
  - ▶2002年 オーストラリアMonash大学Alfred病院 勤務
  - ▶2007年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授

# 加藤健人・田中雄輝

研究、スポーツ、趣味、特技...  
学内外のさまざまな場面で活躍する岡大生たち。  
そんなきらりと光る学生を、  
同じ学生の目線から紹介する。

KATO KENTO / TANAKA YUKI

法学部（夜間主コース）



今春、岡山大学法学部（夜間主コース）に2人のプロサッカー選手が入学した。サッカーJ2のファジアーノ岡山に所属するMF加藤健人、DF田中雄輝両選手。ともに岡山学芸館高校出身で、昨年12月、社会人入試で合格した。高校時代から同クラブのユースチームに所属しており、今季から昇格。プロ契約を結び、セカンドチームの「ネクスファジ」で活動している。



けがにも負けず努力  
加藤選手

加藤選手は岡山市出身。物心ついた時にはサッカー遊びに夢中になっていた。ファジアーノの試合もよく見に行っており、「選手たちに憧れていた」と話す。

ユースチームに入ってから、けがに悩まされることが多かった。高校3年の春、練習中に左腕を骨折し、手術。試合に出られず、もどかしい期間もあったが、「たくさんの方が支えてくれたおかげで、頑張るこ



勉強を両立  
田中選手

大学受験を決意したのは「夜の時間を有意義に送りたいから」と。入学して一番よかったのは、今まで関わることがなかった年齢や職種の人々と出会えたことだという。「大学生活は、自分の考えや知識の幅を広げるチャンス。学んだことをサッカーに活かしたい」と期待に胸を膨らませる。

3年間こなしてきた。大学生になっても、移動などの空き時間を見つけては本を読んでいる。勉強では、「将来、役立ちそうだから」との理由で、特に英語に力を入れている。

尊敬する選手は、同じ左サイドバックをポジションとする日本代表の長友佑都選手だ。「90分間、走り続けられる選手。最後まであきらめないサッカーを貫いている」と田中選手。少しでも、長友選手に近づけるようにと努力を重ねている。

## 2人で描く 同じ夢

高校から現在まで同じ環境に身を置いてきた2人。互いのことを「(田中選手は)まじめで、やると決めたらとことん打ち込む。自分も見習いたい」(加藤選手)、「チームをまとめるのがうまく、人を引っ張る力がある」(田中選手)と信頼し合

今後の目標はともに「日本フットボールリーグ(JFL)後期でのチーム優勝」と「トップチームに上がること」。これからも、同じ夢を描きながら、ピッチを駆けめぐる。

## ファジアーノ岡山ネクスト

(呼称：ネクスファジ)

J2で活躍する「ファジアーノ岡山」のセカンドチーム。若手選手育成のため、2009年に結成された。2013年に、日本フットボールリーグ(JFL)へ昇格。Jリーグで活躍できる選手をトップチームに送り込むことを目指している。



▲授業風景

広島県出身の田中選手は、小さいころからプロサッカー選手になることを目標にしていた。ユースへ入ることは「プロへの大きな一歩」と考え、高校から岡山へ。「サッカーと学業の両立を心掛けてきた」と話す堅実派だ。

放課後はユースチームで練習。帰宅後は、夜中の1時まで勉強するというハードなスケジュールを



インタビュー  
岡大学生取材班  
文学部特別聴講学生  
具 延修 (ク・ヨンス)



◀「おokayama Study Tour」の参加者



◀各施設の魅力などを話し合ったワークショップ

岡山大学地域総合研究センターは7月12日、留学生が日本人学生と一緒に後楽園と岡山城を巡り、魅力や改善点を話し合う「おokayama Study Tour」を開催した。留学生、日本人学生、ボランティア・スタッフら計49人が参加。5チームに分かれ、説明案内の表示内容や施設の利便性を確認するなど、熱心に視察した。ワークショップでは各施設の魅力や改善点を話し合い、「西洋にはない竹に見入った」「難しい日本語の説明が多い」「外国語の説明が少ない」など、留学生ならではの意見や、「後楽園と岡山城の新しい発見ができてよかった」などの感想が寄せられた。

## 3 留学生の視点で岡山の魅力再発見

### 「おokayama Study Tour」開催

TOPICS  
Okayama University



▲後楽園を散策する参加者

せられ、最後に荒木勝副学長より修了証を受け取った。ツアーは文部科学省留学生交流拠点整備事業の活動の一つで、自治体や岡山コンベンションセンターと協働で実施。国際的な岡山のまちの魅力向上に向けて、今後、さらなる企画を予定している。

## 「グローバルサイエンスキャンパス」に選定

### 「真の科学者」育成目指す

1 TOPICS  
Okayama University

「科学先取りグローバルキャンパス岡山」のキックオフ講演会=8月23日▶



岡山大学は6月11日、独立行政法人・科学技術振興機構の「グローバルサイエンスキャンパス」に選定された。地域で卓越した意欲・能力を有する高校生らを対象に、将来グローバルに活躍しうる科学技術人材を育成することを目的に、本年度から開始される事業。全国から26大学が応募し、本学を含む8大学が選ばれた。本学は、グローバルに活躍できる自立的科学者育成を目的とする中四国コンソーシアム「科学先取りグローバルキャンパス岡山」を地域の教育委員会と連携して構築。科学への優れた才能と意欲を持った生徒を教育委員会とともに見だし、未来の科学者へスムーズに繋がるよう、研究能力とともにコミュニケーション能力、異文化理解を含む科学リテラシー、科学者倫理などの修得を、研究最前線にいる大学教員が責任を持って指導する。さらに優秀なコース生には科学研究論文作成を義務化し、「真の科学者」の育成を図る。

## 4 TOPICS 全学部全学科で「国際バカロレア入試」導入

### 全国の国立大で初

岡山大学は2015年度から、「国際バカロレア（IB）入試」を全学部全学科で実施する。全国の国立大では初めての取り組みで、国際バカロレア資格取得者を対象に、書類選考のみ（一部の学部を除く）で入学資格を与える。国際バカロレア資格は、国際バカロレア機構が定める国際的に標準化されたカリキュラムを履修し、最終試験に合格した者に与えられる大学入



▲「国際バカロレア入試」の記者会見

学資格。本学は、2012年度から理系4学部と1コースで国際バカロレア入試を導入している。同入試は、本学の教育目標の一つである「異文化理解に基づいた国際性の獲得」の資質とともに、優れた学力を備えた学生の確保・育成を目指すもの。また、国際バカロレア教育プログラムで育成する「国際感覚に優れた人」や「コミュニケーション能力、問題解決能力、論理的思考力に優れた人」は、本学の教育理念に合致していることから、全学部全学科への拡大を決めた。



TOPICS  
Okayama University

## 国際センターが

## 「グローバル・パートナーズ」に

### 7月1日から改組

7月1日から、国際センターが「グローバル・パートナーズ」(Center for Global Partnerships and Education: CGPE)に改組した。岡山大学のグローバル化促進を目的に、新たな事業を展開。留学生の生活支援、教育内容の一層の充実を目指す。受入・派遣留学生、研究者の問い合わせ先を一元化するため、同所に専用の受付電話を設置。ビザや留学生生活全般の多様な相談に対応する。10月からは、大学院予備教育コース、短期留学受入プログラムを新設。予備教育コースは、本学大学院を目指す学生向けに、学術日本語、研究の手法を指導することで、スキルアップにつなげてもらう。受入プログラムは、海外協定校の学生に日本語、教養教育の授業を提供し、実践的な日本語授業を通じて大学院進学を目指してもらう。短期交換（EPOK）留学生も、英語で履修できる科目群として、来年度から「現代日本学」を設置。講義に加えて日本の生活文化を体験できるフィールドワークを展開する。本学の留学生数は、中国、アメリカ、マレーシアなど38カ国461人（5月1日現在）。

岡山大学のニュース&トピックスおよび最新情報は岡山大学のホームページからご覧いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp>

## 5 May

22~24日 「情報危機管理コンテスト」で自然科学研究科電子情報システム工学専攻の大学院生チームが最優秀の経済産業大臣賞を受賞



28日 駐日オーストラリア大使・ブルース・ミラー氏の講演会を開催

28日 岡山大学アドバンスドナノカーボン複合構造材料研究開発センターが「ANCSキックオフシンポジウム」を開催

30日 本学歯学部とハイフォン医科薬科大学は、ハイフォン医科薬科大学附属病院に国際歯科センターを開設し、開設記念式典を挙げる



## 6 June

4日 アフリカ地域の教育関係者から本学で研修を開始

5日 岡山大学病院で歯ツスルフェA12014を開催

7日 環境管理センターが公開講演会「環境と人と化学物質」を開催

11日 科学技術振興機構「グローバルサイエンスキャンパス」に本学が選定

12日 本学学生の海外研修を受け入れる内山工業に感謝状を贈呈

20日 岡山大学病院が厚生労働省国産医療機器創出促進基盤整備等事業に採択

23日 科学技術振興機構「産学共同実用化開発事業」に採択

24日 在日フランス大使館のニコラ・ラコット参事官が森田潔学長を表敬訪問

25日 岡山大学エコナイト2014を開催



## 6

26日 定例記者発表を開催

27日 本学が農林水産省「革新的技術創造促進事業」異分野融合共同研究の研究拠点に採択

## 7 July

1日 国際センターをグローバルバートナーズに改組

3日 岡山大学病院は、脳死下では国内初となる左右反転肺移植を実施

11日 埋蔵文化財調査研究センターが鹿田キャンパスで行った発掘調査で、鎌倉時代の墓から烏帽子を被った状態で人骨が出土。12日に現地説明会を開催



12日 地域総合研究センターが「おみやま Study Tour」を開催

14日 URAインターナショナルリサーチセミナーを開催

16日 研究推進産学官連携機構が鹿田本部を開所



18日 教育学部と附属図書館の共催で「池田家文庫」も向け岡山後楽園発見ワークショップを開催

25日 岡山大学Alumni（全学同窓会）の東京支部が発足

事務局長は、本学東京サテライトオフィス（東京都中央区）に設置し、会員同士の交流や首都圏への就職を目指す学生へのサポートなどを展開。



## 7

28日 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択。本学を中心に11校による連携で実施

31日 自然科学研究科と環境生命科学研究科は、高校生・大学院生による研究紹介と交流の会を開催

## 8 August

1日 日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員（書面担当）の表彰者発表が行われ、本学から神崎浩環境生命科学研究所長、教授と高井和彦自然科学研究科教授の2人が選出

1日 キャリア開発センター公認のゆるキャラ「いちよ」のブロンズ像が完成し、誕生祭を開催



1日 経済産業省「医工連携事業化推進事業」に、事業実施機関として本学から3課題が採択

8~9日 オープンキャンパスを開催  
全17学部・コースで、学部等の概要説明や模擬授業、研究室訪問などを実施。9日の午後は台風の影響で中止となったもの、県内外から2日間、約1万5000人が来学し、学内の雰囲気を感じた。



9日 生殖補助医療技術教育研究センターは、8月~11月の期間、国立大学では初となる胚培養士を対象とした公開講座（全8回）を開催

11日 工学部創造工学センター技術支援部門が「小学生のための工学実験教室2014」を開催

20日 文部科学省「大学教育再生加速プログラム」のテーマIII（入試改革）に採択

## 研究・臨床成果

■大学院医歯薬学総合研究科の片野坂友紀助教と成瀬恵治教授らのグループは、メカニカルシグナルを利用して心臓の構造や機能を維持する仕組みを世界で初めて解明。「Nature Communications」に掲載。（5月・臨時発表）

■資源植物科学研究所の池田啓助教授らのグループは、日本列島のみならず高山植物ツガケラが、北極圏に分布する近縁種と異なる系統であることを明らかにした。英国の植物学雑誌「New Phytologist」に掲載。（6月・臨時発表）

■大学院自然科学研究科の高田潤特任教授の研究グループは、酸化鉄がリチウムイオン二次電池の負極材として優れた特性を示すことを世界で初めて発見するとともに、そのユニークな充放電機構を明らかにした。米国の科学雑誌「ACS Applied Materials & Interfaces」に掲載。（6月・臨時発表）

■大学院環境生命科学研究所の岡田賢祐助教らの研究グループは、オオツノコクヌストモドキのメスが戦いに強い大きな大顎を持つオスではなく、脚を使ってメスの体をたたく求愛技術が高いオスを好むことを世界で初めて明らかにした。英国王立協会紀要「Proceedings of the Royal Society B」に掲載。（6月・臨時発表）

■大学院自然科学研究科の岡本秀毅准教授、久保園芳博教授らの研究グループは、「8」フェナセン」と呼ばれる分子の効率的な合成法を開発。電界効果型トランジスタの活性層として用いると、非常に良好なトランジスタ特性を示すことを実証した。Nature Publishing Group が発行する「Scientific Reports」に掲載。（6月・臨時発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の藤原俊義教授らの研究グループは、オワンクラゲの緑色蛍光タンパク質の遺伝子を組み込んだウイルス「テロメスキャン」を用いて、血液からがん細胞の遺伝子変異を高感度に検出する技術を世界で初めて開発。イギリスの消化器研究の科学雑誌「Gut」に掲載。（7月・臨時発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の成瀬恵治教授の研究グループと株式会社メニコンが共同開発したゲルが手術用止血材として有効であることを、大学院医歯薬学総合研究科の木股敬裕教授らを中心とする研究グループが世界で初めて確認。「PLOS ONE」に掲載。（7月・定例発表）

■大学院保健学研究所の飯尾友愛助教、柴倉美砂子准教授、片岡幹男教授らの研究グループは、アロマセラピーに用いられるラベンダー精油にマウスモデルの喘息症状を軽減する作用があることを世界で初めて明らかにした。アメリカの総合科学雑誌「Life Sciences」に掲載。（7月・臨時発表）

■大学院自然科学研究科の見浪護教授の研究グループは、「長時間潜航」作業対応自律制御型水中ロボット」の開発に成功。長期連続航行を要する海底資源探査・回収や海中未確認生物の生態調査等のほか、高級魚等海産物の栽培漁業・中間育成や機雷掃海、人命救助等への利用が期待される。（7月・臨時発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の工藤慎子助教と高柴正信教授らの研究グループは、動脈硬化に関わる脂質代謝異常に歯周病が関連していることを臨床観察研究によって突き止めた。日本の英文歯科学雑誌「Odontology」に掲載。（8月・臨時発表）

■大学院医歯薬学総合研究科の川上滋央助教、皆木省吾教授らの研究グループは、日中の特定の無意識かみしめが歯の喪失と歯並びの崩壊に関わっていることを世界で初めて突き止めた。「PLOS ONE」に掲載。（8月・臨時発表）



岡山大学の同窓生、在学生、教職員、教職員OB、一般の皆様 ぜひお越しください。

# 岡山大学ホームカミングデイ 2014

2014.10/18(土) 午前9時40分～  
※日時、場所は各企画で異なりますのでご注意ください。

## 岡山大学津島キャンパス 他

ホームカミングデイは、岡山大学の同窓生および教職員OBの皆様に、ふたたび岡山大学に足を運んでいただき、大学の近況にふれ、なつかしい恩師や同窓生、在学生、教職員との交流を深めていただくことを目的としたイベントです。一般の方もご参加いただけますので、ぜひお越しください。

### 創立五十周年記念館

歓迎式典・Alumni (全学同窓会) 総会等/金光ホール

▶時間/10:00～11:30 グリークラブのミニコンサートも開催!

岡山大学ミュージックフェスティバル/金光ホール

岡山大学の音楽系サークル有志による音楽の祭典。学生たちの生演奏をお楽しみください。留学生と教職員によるバンドも参加します!

▶時間: 開場/13:00 開演/13:30～16:30

茶道部お茶席/1階交流サロン

茶道部の学生が点てた美味しいお抹茶をご賞味ください。お菓子付きです。

▶時間/11:00～16:30

創立五十周年記念館1階で整理券を配付します。

先着280名



美術教育講座の学生・同窓生による美術展/2階

教育学部および教育学研究科で美術を専攻する在学生と同窓生の力作(平面作品、立体作品)をぜひご鑑賞ください。

▶時間/10:00～16:30



### Terrace Caféが同日オープン



「美しい学都」を目指して進められている「プロジェクト。その一環として、建築家ユニット「SANAA (サナア)」のデザインによるカフェユニット「Terrace Café」がオープンします。一般の皆様もご利用いただけますので来店をお待ちしております。  
▶時間/11:00～19:00 ▶場所/正門西側

### ホームカミングデイ 学生チームが活躍!



学生スタッフが、ホームカミングデイの運営・進行・企画等に参加します。

### 創立五十周年記念館周辺

<p><b>応援団総部演奏</b></p> <p>応援団総部の学生が力強い演奏で皆様を歓迎!チアリーダー、吹奏楽団も活躍します。 ▶時間/9:40頃～9:50頃</p>	<p><b>岡大の卒業生、在学生、関係者によるお店</b></p> <p>▶時間/11:00～16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● EXCAFE (エスプレッソ、焼き菓子)</li> <li>● みまちゃんの店 (黒枝豆)</li> <li>● 満月BAR (飲食)</li> <li>● 岡山ZARU (地酒販売)</li> <li>● CAMPUS Asia Café (韓国焼き菓子)</li> <li>● 岡プロ! &amp; 岡山大学生協 (オリジナルグッズ)</li> <li>● 農産物販売 (13:00頃販売終了予定)</li> <li>● カフェ&amp;トーク (飲食、留学生とトーク)</li> <li>● WAWA's Duty Free (海外の雑貨、小物)</li> <li>● 新庄ひめのもち「グッドジョブ支援センター店」(餅つきの実演もあります!)</li> </ul> <p><b>1日限定 OPEN!</b></p>	<p><b>津島キャンパスウォークツアー</b></p> <p>■企画ツアー 学生ガイドが、津島キャンパス内をご案内します。変わる岡大・変わらない岡大を発見してください。 ▶時間/11:30～(約1時間程度)</p>
<p><b>うらじゃ演奏と総踊り体験</b></p> <p>岡大生も多数参加しているうらじゃ連「楽鬼」の演奏と総踊りをお楽しみください。 ▶時間/11:30頃～12:00頃</p>		<p><b>南福祉施設(ピーチユニオン)4階</b></p> <p>■ウェルカムパーティー 同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様。学部、業種、年代を超えた交流を楽しみませんか?軽食とお飲み物を用意してお待ちしています。 ▶時間/12:00～13:00頃 ▶申込期間/10/10まで ▶参加費/2,000円 ▶申込先/総務・企画部 企画・広報課 TEL: 086-251-7019 Email: ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp</p>

### 各学部等による企画

※詳しくは岡山大学ホームカミングデイ2014 ホームページをご覧ください。

<p><b>法学部</b></p> <p>■講演会「戦後のエネルギー政策についてー過去・現在そしてこれから」 ■懇親会 要・事前申込(当日参加・可)</p>	<p><b>環境理工学部</b></p> <p>■環境デザイン工学科 講演会と交流会 ■環境物質工学科20年の歩み(創立20周年記念イベント) ○第一部 環境物質工学科と同窓会の歩み ○第二部 創立20周年記念パーティー 要・事前申込(9/30まで)</p>
<p><b>理学部</b></p> <p>■講演会「地球環境変動とサンゴ礁環境」 ■理学部同窓会 要・事前申込(10/3まで)</p>	<p><b>農学部</b></p> <p>■農学部附属山陽園フィールド科学センターのぶどうといもの収穫体験(同窓生限定) ■農学部公開シンポジウム 要・事前申込</p>
<p><b>歯学部</b> 10/26 鹿田キャンパス ※日時と場所にご注意ください。 ■歯学部キャンパスツアー</p> <p><b>薬学部</b></p> <p>■薬用植物園の公開と植物解説 漢方薬や民間薬、ハーブ等として使用される植物について、解説を聞きながら見学いただけます。</p>	<p><b>附属図書館</b></p> <p>■附属図書館自由見学 今年5月にリニューアルした図書館をぜひご覧ください。一般の方もご利用いただけます。</p>
<p><b>工学部</b></p> <p>■工学部の施設・研究室等公開 ■工学部同窓会報告会 ■工学部同窓会懇親会 要・事前申込(10/10まで)</p>	<p><b>グローバル・パートナーズ</b> 10/17 ※日時にご注意ください。 ■国際同窓会第4回総会 ■国際ミニシンポジウム</p>



●岡山大学ホームカミングデイ2014 ホームページ  
<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/homecoming2014.html>

### ミニ同窓会 開催団体募集

ホームカミングデイに合わせて、サークル・学科・ゼミなどのミニ同窓会を開きませんか?ご希望の方は、教室や体育館等場所の提供を検討しますので、9/18までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

### アクセス

▶当日のご来場は公共交通機関をご利用ください。  
▶津島キャンパスへは、岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から岡電バス47系統「岡山理科大学」行きに乗りし「岡大西門」で下車。  
※10/18(土)は、受付(創立五十周年記念館周辺)で詳細なパンフレットをお配りする予定です。

【問い合わせ先】  
岡山大学 総務・企画部 企画・広報課  
TEL: 086-251-7019  
Email: ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp  
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山大学ホームカミングデイ2014

※内容は予告なく変更する場合があります。写真はイメージです。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



<http://www.okayama-u.ac.jp/>